

平成22年 第17回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成22年11月11日(木)
開会 午後1時40分 閉会 午後2時56分
- 2 場 所 京丹後市役所 3階 301会議室
- 3 出席委員名 上羽敏夫、文珠清道、森益美、小松慶三、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 高橋忠彰、教育総務課長 糸井嘉彦、
学校教育課長 藤村信行、社会教育課長 安達忠行、文化財保護課長
吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書 記 教育総務課長補佐 味田伸一
- 7 議 事
- (1) 議案第85号 「議決事項の取り消しについて(平成22年8月5日議決議案第71号)」
 - (2) 議案第86号 「議決事項の取り消しについて(平成22年8月5日議決議案第72号)」
 - (3) 議案第87号 京丹後市マスターズビレッジ条例施行規則の一部改正について
 - (4) 議案第88号 平成21年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
 - (5) 議案第89号 「第30回京都地名フォーラム開催」に係る後援について
 - (6) 議案第90号 「元気塾(一人親篇)」に係る後援について
 - (7) 議案第91号 「支部選抜チャレンジカップ in AMINO少年サッカー大会」に係る後援について
- 8 その他
- (1) 諸報告
 - ① 「共催」・「後援」申請に係る10月期承認について
 - ② 教職員の労働条件及び教育諸条件の改善に関する要求書について

<教育理事>

 - ① 平成22年度京都府教育委員会表彰式について
 - (2) 各課報告

<教育総務課>

 - ① 教育財産の使用許可について
(株式会社安部日鋼工業：京丹後市立田村小学校用地 35㎡(プール専用駐車場))

② 教育財産の使用許可について

(京丹後市 情報政策課：京丹後市久美浜町浦明 1104 番地の 1)

<学校教育課>

- ① 11月学校行事予定について

<社会教育課>

- ① 第32回全国公民館研究集会について
② 平成22年度視覚障害者研修会について
③ 平成22年度聴覚障害者研修会について
④ 第25回国民文化祭・おかやま2010「文芸祭 短歌大会」視察について
⑤ 第6回京丹後市ニュースポーツ交流大会について
⑥ 第26回国民文化祭・京都2011プレ大会 京丹後市小町ろまん短歌大会について

<文化財保護課>

- ① 『古代の里まつり』について
② 網野郷土資料館展示ガイドと展示替について

(3) その他

9 会 議 録 別添のとおり (全13頁)

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成22年12月2日

委員長 上羽 敏夫

署名委員 文珠 清道

〔招集者〕 京丹後市教育委員会委員長 上羽敏夫

〔被招集者〕 文珠清道、森益美、小松慶三、米田敦弘

〔説明者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 高橋忠彰、教育総務課長 糸井嘉彦、
社会教育課長 安達忠行、文化財保護課長 吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄

〔書記〕 教育総務課長補佐 味田伸一

〈上羽委員長〉

ただ今から「平成22年 第17回京丹後市教育委員会定例会」を開会致します。

朝晩めっきりと冷え込むようになり、玄関先にも紅葉が舞い込んできます。暑いと思っ
ていましたが、もう晩秋になりました。

さて、家庭の経済力や環境により子供の学ぶ力や意欲に格差が生じてきている現実があり
ます。少人数学級で解決できるものではなく、やはり教える側の質が伴わないと子供達
の学力は向上しないものと考えます。教育委員会も学校管理職も教師が高度な意識改革で
もって教育に集中できる体制を提供しなければならないと思います。そのためには、地域
の人材を活用し、スポーツ、文化、各種指導等に積極的にかかわってもらえる環境作りが
求められます。

先日、群馬県で小6の生徒が自殺した報道があり、家族側がいじめが原因だと訴えてい
る問題で、市教育委員会は「いじめ」の認定はしたが、「自殺」との因果関係は認められな
いとの見解を示したとの記事が載っていました。学校で「いじめ」はあったが、死を感じ
取れる様子や言葉がなかったから「自殺」との因果関係は認めず、今後は教育委員会と話
し合って調査していくと校長は答弁しています。私が当事者として、その立場にあったな
らと・・・深く考えますとき、「また心の病気？」とはとても言えません。

さて、本市を含めて京都府下では、「いじめの認知」は全国平均の半分以下と思いますが、
不登校や暴力行為は2倍以上の深刻な状況が続いています。これからも教育環境作りを
しっかりと、学力向上を目指したいものです。

委員長としての行事出席等につきましては、10月13日市議会、15日と16日は貝
塚市での近畿地教委連研修会、20日はアグリセンター大宮で丹後地教委連会長として局
管内公立幼・小・中学校長会議へ出席、24日途中ヶ丘運動公園へ、11月5日京都市内
で府内教委研修会、10日は丹後文化会館で戦没者追悼式へ出席しました。

本日の議案は7件でございます。委員各位の活発なご議論をお願いしまして開会のご挨拶
と報告とさせていただきます。

次に米田教育長から、第16回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心に、教
育長報告をお願いいたします。

〈米田教育長〉

ご苦労さまです。本日は学校訪問をしていただきました。教育委員が現場の声を聞く機
会はあるとは思いますが、今日のような膝を交えた機会は中々なく、参考になったと思っ

ています。また、いろいろな規模の学校を廻りながら、できるだけ現場の声を聴く機会をつくっていきたいと思っています。

市議会で耐震化計画が議決されまして、今、教育総務課を中心に耐震補強の取り組みをしている最中です。工事を行う学校が10校にわたるということもあって、非常に毎日悪戦苦闘していますが、認めていただいたものが、計画通りできるように頑張りたいと思っています。

「平成22年10月動静表」朗読説明

<上羽委員長>

ただいまの教育長報告について、ご質問等ありましたらお願いします。

次に会議録の承認を行います。

第16回の署名委員は小松委員です。会議録については、すでにお手元に送付していますが、原案のとおり承認してよろしいですか。

<全委員>

了承。

<上羽委員長>

原案どおり承認いたします。

<上羽委員長>

本日の会議録署名委員の指名をいたします。
文珠委員を指名しますのでお願いします。

<上羽委員長>

それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。
議案第85号、議案第86号の2議案については、いずれも議決事項の取り消しの議案であります。

一括議題としたいと思いますがご異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<上羽委員長>

ご異議なしと認めます。よって、議案第85号「議決事項の取り消しについて（平成22年8月5日議決議案第71号）」、議案第86号「議決事項の取り消しについて（平成22年8月5日議決議案第72号）」の2議案を一括議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これらについて、教育次長から提案します。

〈吉岡教育次長〉

失礼します。議案第 85 号について訂正をお願いしたいと思います。「議決事項の取り消しについて」の下のところですが、かぎ括弧の中が「マスタービレッジ」になっていますが、「マスターズビレッジ」に訂正をお願いします。

それでは議案第 85 号「議決事項の取り消しについて（平成 22 年 8 月 5 日議決議案第 71 号）」について説明をさせていただきます。取り消しの案件につきましては、8 月 5 日の教育委員会会議に議案第 71 号で提案し承認をいただきました、「京丹後市マスターズビレッジ条例の一部改正について」でございます。

9 月議会に上程し、文教厚生常任委員会で審議され、10 月 13 日の本会議で常任委員会の委員長から否決の旨を報告、質疑討論後、本会議で否決をされました。よってこの否決を受け、このたびご議案取り消しをお願いするものでございます。教育委員会で承認をいただいたものが、議会で否決されますのは、事務局として十分な協議ができなかったと反省もしております。教育委員の皆様には大変ご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申しあげたいと思います。それでは議会での指摘事項を説明させていただきます。

今回の条例改正は施設管理の効率化と有効活用、また利用者の増加等を図るため、指定管理者制度を導入するために、必要な条文改正を行おうとしたものですが、議会の意見としましては、施設の設置目的が教育施設であり、指定管理者制度になじむものではない。業務の効率化と利用者の増加を図るものであるなら、自主事業が取り組みやすいかたち、例えば観光目的にするなど、設置目的の変更や所管課の変更など条件整理の検討をしてはどうか、経営が難しいのなら府に返すのも一つの方法である。もっと現状を検証し、原課で努力をした結果、どうしても経営が無理となったときに出すべきではないか等の意見が出されました。議会の議決を真摯に受け止めて事務局で協議をした結果、改めて取り下げをさせていただくものです。なお、施設につきましては、引続き運営していく必要がありますので、事務局では有効活用と利用の拡大に努めるとともに、現状の検証を改めて行った上で、今後の取り扱いにつきましては協議をさせていただきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

続きまして、議案第 86 号「議決事項の取り消しについて（平成 22 年 8 月 5 日議決議案第 72 号）」について説明させていただきます。取り消しの案件につきましては、8 月 5 日の教育委員会会議について、議案第 72 号で提案し、承認をいただきました「京丹後市マスターズビレッジ施行規則の一部改正について」です。前議案の第 85 号で説明させていただきましたとおり、京丹後市マスターズビレッジ条例が議会で否決となりましたので、同時に承認を受けておりました施行規則の一部改正につきましても、条例改正と関係するものですので、条例の取り下げに伴い取り下げをさせていただきたいと思います。条例施行規則の一部改正の内容につきましては、指定管理者制度の導入に伴う関係条例の改正と利用手続き等の見直しを行うものでございました。以上よろしく願いいたします。

〈上羽委員長〉

ただ今、議決事項の取り消し議案につきまして、2 議案の説明をいただきました。

まず、議案第 85 号「議決事項の取り消しについて（平成 22 年 8 月 5 日議決議案第 71 号）」、ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

次に、議案第 86 号「議決事項の取り消しについて(平成 22 年 8 月 5 日議決議案第 72 号)」ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

それでは全体を通して、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

それでは、順次お諮りをいたします。

議案第 85 号「議決事項の取り消しについて(平成 22 年 8 月 5 日議決議案第 71 号)」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認いたします。

次に、議案第 86 号「議決事項の取り消しについて(平成 22 年 8 月 5 日議決議案第 72 号)」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

それでは、次の議案に入らせていただきます。

議案第 87 号「京丹後市マスターズビレッジ条例施行規則の一部改正について」を議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これも教育次長から説明します。

〈吉岡教育次長〉

議案第 87 号「京丹後市マスターズビレッジ条例施行規則の一部改正について」説明をさせていただきます。改正内容につきましては、第 3 条の利用時間の規定の改正となっております。施設の利用時間ですが、工房につきましては午前 8 時 30 分から午後 10 時まで、ただし染織実習室及び陶芸実習室は午後 5 時までの利用時間となっておりますが、事業運営の拡大と活性化を図るため、染織実習室及び陶芸実習室を夜間に利用する場合は工房事業によるものはできるものとしたものです。内容については以上ですので、審議よろしくをお願いします。

〈上羽委員長〉

議案第 87 号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

特にご意見ございませんか。

それではお諮りを致します。議案第87号「京丹後市マスターズビレッジ条例施行規則の一部改正について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

〈上羽委員長〉

次の議案に入らせていただきます。

議案第88号「平成21年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について」を議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これも次長から説明いたします。

〈吉岡教育次長〉

点検及び評価報告書につきましては、配付させていただいておりますので、それを見ながら説明いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

議案第88号「平成21年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について」説明をさせていただきます。評価報告書の表紙をめくってください。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第1項の規定によりまして、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と定められているため、この報告書を作成するものです。また、同条第2項におきまして、「教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」ことが規定されており、今回においても、大学の2名の先生の見解を付けさせていただいております。

内容につきましては、「自己点検・評価について」「教育に関する学識経験者の意見」、続いて、Ⅰ教育委員会の活動状況、Ⅱ施策の点検・評価 総括表、Ⅲ平成21年度事務事業評価調書等の構成となっております。ページをめくっていただいて、自己点検評価については「平成21年度の教育活動をふりかえって」を記載しておりますが、一部文言等の修正をしておりますので、その対照表を別途つけさせていただいております。市制施行5周年記念事業の関係を前段に記載し、学校関係では、学校再配置、耐震化計画、教育改革構想などの取り組み、丹後こども園の運営や学校施設整備の状況等を記載させていただいております。社会教育の分野では学校支援地域本部事業、市文化協会の設立、高校総体、公民館のあり方について検討している旨を、また平井財団設立準備室からの寄附、杉本竜一氏の新曲披露等について記載をさせていただ

ています。文化財保護の分野では、市史編纂事業の取り組み等を記載しております。なお、まとめとしましては、改めて本市の教育行政全般を見渡し、長期的な将来展望にたった教育改革を進めていかなければいけないとし、教育委員会として慎重かつ勇猛果敢に取り組んでいきたいとさせていただいています。ページをめくってください。次ページの教育に関する学識経験者の意見では、去年もお世話になりました立命館大学の長野先生と、玉川大学の寺本先生の意見をつけさせていただいております。長野先生からは平成22年度を「教育改革元年」と位置付け、「ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流の町」にふさわしい教育の環境と条件整備について明らかにし、教育基本法を具現化する道筋を示したものとして注目されていると書かれています。また本論では、学校再配置と施設耐震化を進めることは、時宜を得たものであること、「複式学級の解消」は子ども・保護者の願いであること、保護者・地域住民を学校運営に参加させて、家庭や地域の教育力を掘り起こすことが望まれること、小中一貫教育プランの作成、試行、各校の教育目標、評価等が画一的、形式的になりマンネリ化している傾向がある。校長は地域社会の状況を見据え、点検・評価を次の実践に活かし、教職員個々の人間性や社会性、専門性の向上に資すること、教育委員会は「学校を開く」ことに努めること、社会教育の分野では、ボランティアの充実によるキャリア教育の活用、文化財保護の分野では、地域の自主的な活動や活力を取り入れること、豊富な文化遺産等の保全等に万全を期し、生涯学習の基盤としての教材化、学校、社会教育の中で活用することが重要、また観光資源として開発・啓発も大切であると書かれています。また総括として、21年度は「21世紀の京丹後市教育」の出発点となりました。教育現場や市民・保護者の意見を十分聞いて、新しい京丹後教育を創造し、本市から世界にはばたく人材の育成に向けて、学校づくりとまちづくりを果敢に指導されるように希望しますとまとめられております。

次に寺本先生からは、序論の中で、耐震補強事業も伴った学校再配置の立案と実施に大変な苦労をされていると思われるが、そうした中であっても様々な事業に取り組んでいるとさせていただいています。本論では教育委員会主催の子育て・まちづくりなどをテーマにしたシンポジウムの開催など市民参加による教育推進することを期待しているとあります。学校再配置は基本方針が明確に決められており、真摯な姿勢で取り組まれている、計画も十分に練られていると判断するとしていただいています。学校評価では、学校経営の重点の記述も少なく、具体性に欠けた学校もあり、一定の水準を確保するための共通認識化を図る必要がある、施策の点検では、A判定が大半であることは評価できる。社会教育活動等では参加者の少ない事業については要検討が必要である、文化財保護と社会体育はよく取り組まれているとされています。総括として学校教育改革構想中間案が添付され、前向きで明るい印象を得た。今後の教育行政は財政的には厳しさを増すが知恵と行動力でユニークな目標を持った自治体として成長してもらいたいとしております。総合評価として、教育委員会活動として概ね妥当な事業運営に努めていると評価できる。『京丹後市の教育』の発刊のことばで教育長が述べられている長期的な将来展望にたった教育改革に向けて一步を踏み出す時期にきているように思われる。例えばとして、観光を絡めた地域づくりを生涯学習や学校教育の題材にもできないだろうか、学校教育の振興においても京丹後市の特性を市民がもっと自覚し、次世代育成も地域からという発想で取り組んでもらいたいというふうにされています。以上、意見等を説明させていただきました。以下の資料はたくさんになりますので、説明は省略させていただきます。以上よろしく申し上げます。

<上羽委員長>

議案第88号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

資料は事前に配られていますので、意見がありましたらお願いします。

〈文珠委員長職務代理者〉

相対的に見て、費用対効果は思うようなことが達成できていますか。

〈米田教育長〉

大変難しい問題であると思いますが。学校に対する評価を、学校が独自にある程度の基準に基づいて評価をしていくというのは、非常に客観的なものになるわけです。言葉の表現だけで読み取れないところも出てきます。それを裏付けるためにも学校訪問をしますが、40校もあれば見えにくい学校もでてきます。

今回も学校とPTAが上手くいっていない学校もあるけれど、言葉だけ見ていると分からないので、中味をどうして見ていくかという評価のあり方も考えていかなければならないと考えています。

〈吉岡教育次長〉

費用対効果と言われると答えにくい部分もありますが、市全体として財政が厳しいということに変わりはないので、来年度の予算要望もこれからさせていただくのですが、なかなか財源的に十分な手当をしていただいていない分野もありますので、そういう分野については工夫をしていながら事業の取り組みをさせていただいています。先生方の評価の中にも概ね教育委員会としては頑張っているという評価もありますので、全体的にはやらせていただいているのではとっております。

〈森委員〉

一つ教えてください。「PDCAのサイクルで」とありますが、その「PDCA」とは何ですか。

〈米田教育長〉

Pはプラン（計画・PLAN）、Dはドゥ（実行・DO）、Cはチェック（検証・CHECK）、Aはアクション（改善・ACTION）です。計画を立てて実行、評価し、それを踏まえて新たな物事を進行していくときのサイクルを英語を使って省略をして使っています。

〈吉岡教育次長〉

行政自体もそういう手法で計画を立てたものを自分たちで1回評価して次の行動に活かすという、よく使われる手法です。

〈後藤総括指導主事〉

最近「PDCA」の前に「R」がつけます。リサーチ（実態調査・Research）が加わります。実態を調べて、行動して評価して改善する。「R PDCA」となります。今ごろ流行ってい

ます。今までからしてきたことです。

<森委員>

見せていただいて難しい表現があるところもありますが、細かいところまで反省・評価をされているのはすごく分かりやすく、私にとっては良かったです。

<小松委員>

よく出来ていると思っております。ただすごい労力だと感じています。この労力を他に向けることができたというのが率直な感想です。評価のための評価にならないようにやっていただきたい。内容については、当然ですが書いていただいているものを飾らないように実施していただきたいと思います。

<文珠委員長職務代理者>

事業がたくさんありますが、特にこの年度で、これは注目した事業がありましたら聞かせてください。

<糸井教育総務課長>

教育総務課の関係は、今の学校施設等の耐震化計画が一番重要なことです。

平成21年度は峰山中学校の体育館の耐震補強工事、小学校の関係は吉原小学校、間人小学校、鳥取小学校の耐震診断の実施です。

<藤村学校教育課長>

学校教育の関係は、だいたい通常業務がほとんどです。京丹後市独自の部分で言いますと、例えばにここカーを企業から寄贈を受けまして、登下校時のパトロールを行っています。あとはスクールサポーターを単費で雇用し、各学校の介護の関係ですとか、心の教室相談員ということで不登校支援を行っています。

<後藤総括指導主事>

指導室ですが、学校の自己評価の部分がありますが、指導の重点の中に、学習指導、特に学力をつけること、生徒指導、不登校、いじめ、開かれた学校の3つを指定しまして、あとは危機管理、研修などは各学校で取り組んでもらうということです。

これは昨年度の評価ですが、今年度はこのことをベースにして、また具体的な方針の部分では昨年度の結果を反省しながら、ここに方針をたててもらっています。特に今年度につきましては、小中連携のことをかなりここに挙げてくれています。その部分で小中学校で交流の強化を図っています。指定も7校しています。網野中学校、網野北小学校、網野南と網野中学校、峰山中学校と峰山小学校、間人小学校と丹後こども園、大宮は1校ですが、大宮第二小学校ということです。

<安達社会教育課長>

社会教育は、社会の12番というのがありますが、学校支援地域本部事業ですが、これについては平成20年度からの事業ですが、最初は大宮中学校と網野中学校区でやっておりましたが、21年度はさらに峰山中学校区を加えております。さらに平成22年度は市

全域に拡大しております。21年度は峰山を加えたということで、学校からのいろいろな求めに応じて、市内のボランティアに支援をしてもらっています。21年度のボランティア登録者数170名です。ボランティア活動が1,315件、延べ12,923人の内訳があがっています。そういうような状況です。社会教育事業については、地域公民館でそれぞれやってもらっていますが、概ね同じようなこともやっていますが、23年度はそれを見直していこうという取り組みをやっていきたいと思っています。以上です。

<吉田文化財保護課長>

文化財ですが、文化の11というので、遺跡の発掘調査事業というのがあります。今の状況ですけれども、平成19年度から平成21年度まで、網野銚子山古墳の調査をそこそこの金額をかけて実施しました。一定の成果が出ましたので、今後の予定ですが、それを整備し、網野銚子山古墳自体を京丹後市の文化財の一つのシンボルということで整備をしていく事業に切り替わります。

今年度以降については、整備の方向にしていくという事業です。それからあと、長期スパンの事業として、市史編纂事業というのを10年計画で行っておりまして、21年度については、2冊刊行しております。ちなみに考古資料編900冊作りまして、在庫があと120～130冊、峯山藩につきましてはすべて売り切れてしまって在庫がない状態です。今後は丹後震災の復興資料を来年度4冊随時出していく予定です。市史編纂事業を通じて今後の予定として、できるだけ村おこしとかに活用していくという方策も含めて検討していくのが課題であります。

<上羽委員長>

これまでの説明で、何か質問等ありますか。

<上羽委員長>

学校の評価について見させていただくには、文章能力の構成の組み方によって、学校の実態よりはるかにりっぱな評価があがっている。文書作成の上手なところもあるなと思います。私も毎年いただいています。実際現場におられる校長先生からすると、ずっと自分が前年度もやっていてその評価を自分がするなら評価もしやすいし反省点も見つけやすいけれども、特に変わった場合はまったく同じ文章で、言葉で伝達をしても、本当に心の部分が伝わらないことになってくると思います。これを活かすということになったとき、本当に次の年度に前年度のこれがどう活かしているかということが、我々には伝わってこないわけです。

先ほど申しましたように文書能力によるところが大きいと思います。やはり言葉では改善しました努力しましたと言ってもそれは当たり前のお話であるし、やはりどう改善されたか、どう学校が変わったかということをお我々としては、何らかの形で見えるものが欲しいと思う。去年と今年ものを見させてもらってもあまり大差ない。表現が変わっただけの印象を受けるところもあります。大変厳しい意見ではございますが、現場がいくらチェックしてもらっても、マイナス面があれば必ず伸びている部分もあるので、そこが自分たちだけで分かる表現、自己満足できるものだけでなく、我々にも理解できるような評価であってほしいと思います。

<後藤総括指導主事>

指導室でも教育長の指導をいただいて、検討したいと思います。

〈米田教育長〉

確かに言われるとおりであります。ただ、委員長言われたように、学校の3分の1から半分近くが変わるといってもありますので、この評価については、その年度内に済ますような段取りをしています。来年は今年と大変わりしないかもしれませんが、今言われたように、なぜこの課題を設定したか、去年の課題は何で、今年特に注意しなければならないことは何かということが簡単にでも書き入れて、その評価が分かる工夫をしてみたいと思います。

〈上羽委員長〉

ぜひとも市民向けに対して分かる評価であるように努力して行ってほしいと思います。

〈文珠委員長職務代理者〉

事務事業評価の効率性において、すべての分野で削減の余地がなかったとなっています。本当に厳しい予算の中だと思いますが、すべてがすべて削減の余地がなかったというのは評価として妥当なのかとも思います。そこは厳しく評価をすべきと思いますし、ましてや改善として事業を拡大していかなければならないというのは、やっぱり、全然削減の余地がない、お金がないという実態の中で、本当に全部「○」という評価でよかったのか疑問に思うということをお伝えしておきます。

〈小松委員〉

これを活かすかたちに、作るだけの作業、書くだけの施策にならないようにお願いします。

〈上羽委員長〉

特にご意見ございませんか。

こういうことは、継続して何年か後に結果が出てくることが多いとは思いますが、校長先生の立案や指導によっては1年で結果が出てくる場面もありますので、取り組む工夫の余地があると思いますので、よろしく願いいたします。

それではお諮りを致します。議案第88号「平成21年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

それでは次の議案に入らせていただきます。

議案第89号、議案第90号、議案第91号の3議案については、いずれも後援の議案であります。

一括議題としたいと思いますがご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

ご異議なしと認めます。よって、議案第89号「第30回京都地名フォーラム開催」に係る後援について、議案第90号「元気塾（一人親篇）」に係る後援について、議案第91号「支部選抜チャレンジカップ in AMINO少年サッカー大会に係る後援について」の3議案を一括議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これらについても教育次長から提案いたします。

〈吉岡教育次長〉

議案第89号「第30回京都地名フォーラム開催」に係る後援についてでございますが、この事業につきましては、暮らしのもとにある地名に目を向けて、日本の伝統文化と歴史認識を一層深め、地域の知的活性化に役立てる住民の魅力ある町づくりに役立てるため平成23年1月23日、峰山総合福祉センターを会場として、地元講師による講義を内容として開催されるものです。申請者は京都地名研究会 吉田金彦氏でございます。

続きまして、議案第90号「元気塾（一人親篇）」に係る後援についてですが、この事業につきましては、1人で子育てをしている方の支えになれたらということで交流会やクリスマス会等事業を実施されるものです。事業の実施期間は12月12日から来年の3月31日までとなっております、クリスマス等の事業を実施されると聞いております。申請者は京丹後市連合婦人会 安井美佐子氏です。

続きまして、議案第91号「支部選抜チャレンジカップ in AMINO少年サッカー大会に係る後援について」でございますが、この事業につきましては、芝生のグラウンドでサッカーをする喜び、楽しさを知ってもらい、少年たちの親睦をはかると共に、チャレンジ精神の取得と技術の向上を図るため、11月13日と14日の両日、八丁浜芝生広場サッカー場を会場に実施されるものでございます。参加は京都府内のチームであり、申請者は網野スポーツクラブ会長 小石原正志氏であります。なお、後援については市及び市体育協会にも申請されているとのことです。以上後援議案3件についてよろしく申し上げます。

〈上羽委員長〉

ただ今、後援議案につきまして、3議案の説明をいただきました。

まず、議案第89号「第30回京都地名フォーラム開催」に係る後援について、ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

次に、議案第90号「元気塾（一人親篇）」に係る後援について、ご質問、ご意見等がご

ございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

次に、議案第91号「支部選抜チャレンジカップ in AMINO少年サッカー大会に係る後援について」、ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈上羽委員長〉

それでは全体を通して、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

それでは、順次お諮りをいたします。

議案第89号「第30回京都地名フォーラム開催」に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認いたします。

次に、議案第90号「元気塾（一人親篇）」に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

次に、議案第91号「支部選抜チャレンジカップ in AMINO少年サッカー大会に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈上羽委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

〈上羽委員長〉

以上で本日の議事はすべて終了させていただきました。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願いしたいと思います。

(1) 諸報告

〈吉岡教育次長〉

① 「共催」・「後援」申請に係る10月期承認について

② 教職員の労働条件及び教育諸条件の改善に関する要求書について
〈教育理事〉

① 平成22年度京都府教育委員会表彰式について

(2) 各課報告

〈教育総務課〉

① 教育財産の使用許可について

(株式会社安部日鋼工業:京丹後市立田村小学校用地 35 m² (プール専用駐車場))

② 教育財産の使用許可について

(京丹後市 情報政策課:京丹後市久美浜町浦明 1104 番地の1)

〈学校教育課〉

① 11月学校行事予定について

〈社会教育課〉

① 第32回全国公民館研究集会について

② 平成22年度視覚障害者研修会について

③ 平成22年度聴覚障害者研修会について

④ 第25回国民文化祭・おかやま2010「文芸祭 短歌大会」視察について

⑤ 第6回京丹後市ニュースポーツ交流大会について

⑥ 第26回国民文化祭・京都2011プレ大会 京丹後市小町ろまん短歌大会について

〈文化財保護課〉

① 『古代の里まつり』について

② 網野郷土資料館展示ガイドと展示替について

〈上羽委員長〉

全体を通して、何かご質問がありますか。

ご質問等ないようです。

以上で第17回京丹後市教育委員会定例会を閉会致します。ご苦勞様でした。

〈 閉会 午後2時56分 〉

[12月定例会 平成22年12月2日(木) 午後3時00分]